

京都開帳記録 (二)

—『日次紀事』・『在京日記』等における—

八 木 意 知 男

要 旨

『女子大國文』第四百十号 (平成十九年一月) に『妙法院日次記』による開帳記録」を發表した。近世期京都における開帳実態を把握し、文化史・宗教史・博物館史を考える資料を得ようとする為のものである。しかし、京都における開帳は、上記一点ではとても把握しきれない。そこで、本稿では黒川道祐の記す式日開帳を中心に、本居宣長『在京日記』等の開帳記録を開示する。

折柄、川端咲子・正木ゆみ両氏の『開帳おどけ 仮手本忠臣蔵』考—忍頂寺文庫本を出発点として— (『忍頂寺文庫・小野文庫の研究』共同研究グループ・国文学研究資料館編『忍頂寺文庫・小野文庫の研究2』所載、二〇〇七年三月) が發表され、臨川書店『優品在庫目録』(平成十九年春季特別号) に「山口素絢画 稻荷山開帳図 寛政八年画 二軸」が載った。前者は開帳と演劇との結びつきを如実に示し、後者は開帳が庶人遊樂の場であったことを示している。開帳の文化史的意義の一端がここにある。

キーワード

開帳 近世京都 日次紀事 在京日記 蓮如上人遠忌

はじめに

「開帳」という宗教行事を見る時、「居開帳」・「出開帳」という考え方を先行させる事がある。これは開帳場所に主眼を置いた分類意識である。これに対して、開帳の時節が問われる事がある。勿論、定例の場合と臨時の場合とが存するが、定例の場合は年毎に日を定めて式日開帳とする例と、百年一度あるいは三十三年に一度と約束して式年開帳する例とがある。臨時の場合には、堂塔修復資金を得んが為とか、○○上人遠忌に人が集まるのに便乗するとか、である。

また、霊像・秘仏・什物・霊宝を公開し結縁を求め本然の意味の開帳もある一方で、公開している訳ではないが結果として開帳状態となる行事も有る。「御身拭い」「煤払い」「虫乾し」等がそれである。

そもそも開帳は、様々な文化現象に影響を与え、展開して来た。しかし、京都における開帳の実態は必ずしも明らかにないのである。そこで近世期京都の開帳を知る事を目的に、遺漏あることを承知の上で『妙法院日次記』に見える諸社寺の開帳記事を資料として纏めた事である（拙稿『妙法院日次記』による開帳記録、『女子大國文』第四百十号、平成十九年一月）。本稿はこれに継ぐものである。

今回の資料

今回本稿でとり上げる資料は次の通りである。

- (1) 『雍州府志』（貞享三年刊）
 - (2) 『日次紀事』（延宝四年刊）
- 黒川道祐著

儒を林羅山・林鷲峯に、医を堀杏庵（正意）に学んだ元安芸藩儒医黒川道祐―名は元逸、静庵・遠碧・梅庵と号す―

が辞して京に住み―新在家上ノ町（『京羽二重』）―著わした地誌。（1）・（2）共に『新修京都叢書』所収本を使用。

この黒川道祐『日次紀事』には、開帳を総括して次の如く謂う。

●凡諸寺開帳多歴三十二年而修之●石山寺觀音開帳 凡新帝即位後多開帳又歴三十二年亦然●嵯峨清涼寺釈迦開帳●真如堂如来開帳●禅林寺廻顧佛開帳●大原来迎院証拠弥陀開帳●泉涌寺中来迎院荒神像歴三十二年而開之●東寺御供所所有弘法大師所刻之大黒像毎年十一月子日開帳寺僧修法事諸人群集●両本願寺親鸞像開帳黒谷所レ有親鸞之像亦然●浄土宗千日万日廻向千部經轉読祠堂漸々千部經四十八夜七日別時一七日法談施餓鬼流灌頂●日蓮宗二十一個寺詣同二十一箇寺上人会合交為之地其頭人号ニ会合一本千部經轉読祠堂千部經一部經千卷陀羅尼一七日法談頓写漸写御書講題目講●本国寺立像釈迦開帳●立本寺十羅刹女詣●頂妙寺二天詣●本満寺●本門寺日蓮像開帳下京本行寺日蓮像開帳其面甚黒故是謂ニ黒染像一本行寺、妙覺寺ノ末寺也●栗田口三猿堂^并八坂庚申堂六庚申日參詣●毎年自夏^三六月一至秋七月所^レ寺社靈宝虫払

○引用は『京都叢書』所収本による。以下同じ。

○引用に際し、漢字は「佛」字等をのぞき、現在通行字体に改めた。

ここに道祐『日次紀事』が述べるところは、三十三年に一度の開帳実例であつたり、日蓮宗における上人像開帳の実例であつたりする。これ等は「日次」つまり年毎に日を定めて催す開帳とは異なる故に、纏め述べられたものである。故に、逆に言えば、『日次紀事』に見える開帳は、年毎に日を定めた式日開帳であるということになる。

ところが、式日開帳を網羅しているかと謂えば必ずしもそうではないと思量される。例えば『日次紀事』三月十三日条には

○十三日〔忌日〕△後白河法皇御忌 建久三年今日崩長講堂修_レ之則_二勅筆宸影_一代代被貼_二勅_一对_一長講堂伝奏勸修寺家也院庁供_二御膳_一庭田家参勤修_二倍膳_一東山蓮華王院智積院亦有_二法事_一

とあつて、『妙法院日次記』第一、元禄七年三月十三日条に

一、後白河法皇御影開帳如例、巳ノ下刻計、御参詣、其後師子吼院宮御参詣也、

〔史料纂集〕所収本

と見える傍線部「開帳」語は『日次紀事』には見えないのである。しかし、『日次紀事』に先立って著わされた同人の『雍州府志』四「寺院門上」では次の如く記される。

●法住寺 在_二養源院南_一有_二後白河法皇之雕像_一毎年三月十三日開帳又有_二妙法院代々之塔_一古所謂法住寺非_二斯処_一乎

〔新修京都叢書〕所収本

すなわち、黒川道祐は当該開帳の事實は把握していたのであり、『日次紀事』が網羅的ではない事を知っておかなければならない。

なお、池田東籬の手が加えられて正徳四年（一七一四）に刊行された『都名所車』の記録も『新修京都叢書』から掲げておく。

(3) 本居宣長日記群

国学者本居宣長が若年時京に医を学んだことは著名である。その彼が記した『在京日記』をはじめとする日記群には、大量の開帳記事が含まれる。そこでこれを筑摩書房版『全集』第十六巻に備うところのものをもって拾う。

(4) 『花乃都諸開帳両本山大御法会並御旧跡案内』（嘉永元年刊、京都女子大学図書館蔵 291.62/H27）

嘉永元年（一八四八）、前年の孝明天皇御即位の嘉祥に加え、東西両本願寺は蓮如上人三百五十年遠忌があり、そして大佛殿では豊臣秀吉二百五十年遠忌に釈迦半身像が再興されたのである。つまり、京都女子大学・京都女子大学短期大学部

図書館の第六回図書館資料特別展観「鴨東散華 壹」(平成十八年十一月十日〜平成十八年十一月廿四日、於錦華殿)に出品されていた『御半像造立御影・木組之真図』(二紙)は、この折の開帳と関係する資料なのである。

あすありとおもふころのあださくら
よるはあらしのふかぬものは

御開山 御幼名八十君 又若松君と称し奉りし
九才の御時詠じ給ふ

うれしやなたふとやなどはいはれけり
南無阿弥陀仏のこゑのひまには

蓮如上人

と二首の御詠を紙面の上下部に配した本紙は、東西両本願寺の共同製作である。縦365耗×横488耗の紙面上部に掛巻もかしこき御代始乃としもくれ竹の八千代長く、ことしの弥生は両御本山に御法会ありて、一方は蓮如上人三百五十年の御遠忌を執行せ給ひ、一方は大門の御供養あり、また西洞院万寿寺の大泉寺にハ御開山聖人の御旧跡姿見の池・数珠掛の梅・連理竹の御杖・見送の弥陀等の什宝あり拜すべし、同じく松原の角天使の社に丹波兵主大明神の拜せあり、これ瘡瘡の守護神なりとぞ、因幡堂の葉師如来はあふけなくも勅会の御開帳にして舞楽あり、佛光寺にハ秘佛乃弥陀の御開扉、それより雉西壬生寺の地藏尊、神泉苑の善女竜王、六角堂の救世大士をぬかづき御開山聖人の御由緒をたづね、洛北清和院の観音より洛東植髮堂にまた始祖聖人乃御真影及び同じく御姿見の鏡をながみ、山科乃両御坊をめぐりて、かくありがたき世にあふみ路や関の清水、関寺の旧跡に蓮如上人爪形の御名号、石山におなじ上人鹿子の御影の由来を問奉り、宇治の三室寺へ出て、ふしミ醍醐の花を詠め、ふたゝび都に帰れば名にしおふ

大佛方広寺にハ此度御再興の積尊半身の御像の拜ませ、高台寺には豊臣大閣二百五十年の御法筵あり、両大谷まふで、夫より所々の桜にながき日を忘るゝうち、いつしかちりしく花乃名残に忽ち迅速の思ひを起すも是また御世の因ミなるべし

- 漢字は基本的には現在通行字体に改めたが、「佛光寺」「大佛」等の「佛」字はそのままに残した。
○変体仮名文字はルビ部分も含めて現行字体に改めたが、「乃」字は残した。
○カタカナ「ハ」「ミ」等はそのままだ残した。

なる趣意書きをし、下部に鴨河に架かる橋を目安とする案内（図版）を配する。

『雍州府志』における開帳記録

- 1) 法住寺 後白河法皇雕像 毎年3月13日開帳
- 2) 廬山寺 元三大師自作の雕像 毎月3日・18日・28日開帳
- 3) 鈴声山真正極楽寺(真如堂) 本堂北元三大師自作像
毎月3日・18日・28日開帳
- 4) 真如堂 稻荷神像 毎年2月初午日諸人參
- 5) 広布山本満寺(日蓮宗21箇寺) 日蓮上人木像 時々開帳
- 6) 叡昌山本法寺 方丈ノ名画数幅 毎年7月17日曝之
- 7) 補陀落山宝積寺(山崎宝寺)
十一面観音・聖徳太子像[≠]行基・弘法・慈恵木像
毎年2月15日・7月16日・18日参詣ノ諸人ニ見^{セシム}
- 8) 明星山御室戸寺 本尊観音 33年ニ必^ス開帳

『日次紀事』における開帳記録

- 正月1日
- 1) 六条道場 天神自画像「鏡御影」開帳
 - 2) 山崎天神社 自画束帯赤面像「御酒天神」開帳
 - 3) 叡山元三大師会(正月1日~正月4日) 横川在粟田口法眼筆、
東塔北谷在慈恵自筆
 - 4) 真如堂(正月1日~正月3日) 慈恵自画像開帳
 - 5) 般舟三昧院(正月1日~正月3日) 慈恵自画像開帳
 - 6) 廬山寺 慈恵自作像開帳
 - 7) 東寺大師堂(年中毎朝) 弘法大師像開帳
- 3日
- 1) 鞍馬寺 毘沙門天[≠]三種宝物・太刀[≠]開帳
 - 2) 梅尾 明恵上人像開帳
- 5日
- 1) 東福寺羅漢供 明兆筆羅漢像50幅僧堂ニ掲^ケ
- 6日
- 1) 高台寺 豊臣秀吉公像[≠]正妃湖月尼像開帳
- 7日
- 1) 東山慈照寺東求堂 足利義政公彫像開帳
- 10日
- 1) 善峯三鈷寺 本尊佛眼明妃画像開帳
- 13日
- 1) 本禅寺日蓮上人忌 日蓮像開帳
 - 2) 本門寺日蓮上人忌 日蓮像開帳
- 15日
- 1) 嵯峨清涼寺 赤梅檀釈迦像開帳
- 16日
- 1) 北山 弘法大師作石不動像、鹿苑院義満公像(5月[≠]9月亦然)
開帳
 - 2) 石清水杉山不動院(今日処々不動開帳)
- 18日
- 1) 林丘寺 本尊観音像[≠]後水尾院宸影(正月18日~19日)開帳
 - 2) 南都興福寺 講堂ニ五大尊画像ヲ掲^ケ

- 21日 1) 東寺 毎月此日、弘法大師像開帳 (正月・3月・5月・9月参詣多)
- 23日 1) 黒谷金戒光明寺 法然上人自筆「一枚起請文」開帳
2) 東山善正寺 釈迦開帳
- 28日 1) 処々荒神[≠]不動像開帳 (5月・9月共然)
2) 北山 石不動像開帳
- 南都一条院中新御願春日社赤童子像開帳、所_レ在_二大乘院_一者門主寺務之中一度開帳、是像称_二千闍主_一然実天児屋根命也
- 2月9日 1) 泉涌寺涅槃法事 舍利開帳 (9日～16日)
- 14日 1) 東福寺 兆典司筆涅槃像画幅^ヲ佛殿_二掲^ケ
2) 建仁寺 涅槃列拝図^ヲ出^ス
- 15日 1) 処々涅槃像^ヲ掲^ケ
2) 南都興福寺東金堂 金岡画閣浮檀金釈迦像・涅槃像開扉
3) 山崎宝寺 観音像・行基菩薩像・弘法大師像開帳
- 16日 1) 本満寺 日蓮像開帳
- 25日 1) 摂州^{ヒルカミ}非留加末天神 自画繩敷像開帳
- 3月1日 1) 南都東大寺法華堂 大黒天開帳
- 2日 1) 禅林寺永観堂 廻顧佛開帳
- 19日 1) 嵯峨清凉寺 釈迦御身拭開帳
- 21日 1) 高雄山弘法大師忌 御影供 (仁和寺・東寺・西岡法皇寺^モ)
合体像開帳
2) 南都真言院・新禅院 弘法大師御影供
- 5月2日 1) 南都東大寺聖武天皇御忌 宸影開帳 (眉間寺^モ)
- 6日 1) 北山鹿苑寺鹿苑院天山道義忌 准三后義満公雕像開帳
- 16日 1) 石清水 杉山不動開帳
2) 鹿苑寺 義満公像開帳
- 6月3日 1) 高雄山 靈宝虫払 (6月3日～6月9日迄)
- 9日 1) 日蓮宗本満寺 虫払
- 13日 1) 妙蓮寺 虫払
- 15日 1) 清浄花院 虫払
- 17日 1) 北野東向観音千日詣 開帳 (6月17日～18日)
- 18日 1) 南都東大寺戒壇院 千手観音開帳
2) 山崎宝寺 虫払
- 20日 1) 京極十念寺 虫払
- 22日 1) 梅尾 靈宝虫払 (27日迄)
2) 水無瀬 後鳥羽院宸影開帳
3) 広隆寺中桂宮院 虫払
- 23日 1) 四条道場金蓮寺 靈宝虫払

- 2) 京極聖光寺 什物虫払
- 24日 1) 東寺後宇多院御宿忌 宸影開帳 弘法大師筆真言八祖画像モ
- 25日 1) 建仁寺靈洞院 虫払
2) 黒谷金戒光明寺 靈宝虫払
3) 誓願寺 靈宝虫払
4) 妙顯寺・本能寺・要法寺 什物虫払
5) 三条天部村阿弥陀堂 蟬丸画像虫払
- 26日 1) 本能寺大坊 聖教≠器物虫払
- 27日 1) 妙心寺方丈 什物虫払
2) 本国寺 虫払
- 此月土用中諸神社諸仏寺靈宝 虫払「土用乾」
- 7月6日 1) 北山鹿苑寺 閣上懺法≠施餓鬼 閣上義満公肖像開帳
2) 東山高台寺施餓鬼 湖月尼公像・秀吉公像・寺物開帳
3) 北野社 内陣煤払・社内靈宝虫払
- 7日 1) 上賀茂松下家 後鳥羽院宸筆虫払
2) 天龍寺方丈 什物虫払
3) 南禅寺慈聖院 虫払
4) 大徳寺方丈 虫払
- 15日 1) 泉涌寺 弥陀開帳
2) 新善光寺 弥陀開帳
3) 南都戒壇院布薩 牧溪十六羅漢像・顔輝十六羅漢像開帳
4) 興福寺東金堂 弘法大師刻版面薬師・脇侍・十二神将開帳
5) 広隆寺中桂院・福昌院・十輪院 虫払
6) 嵯峨二尊院 虫払
- 16日 1) 石清水 杉山不動開帳
- 17日 1) 日蓮宗本法寺開山忌 寺物虫払
- 20日 1) 建仁寺正伝院 什物虫払
- 25日 1) 妙覚寺 什物虫払
- 29日 1) 日蓮宗本隆寺開山忌 什物虫払
- 8月5日 1) 近江白鬚明神 開帳
- 28日 1) 泉涌寺 牙舍利開帳
- 9月16日 1) 石清水 杉山不動開帳
2) 北山鹿苑院 義満公像開帳
- 23日 1) 東山善正寺 釈迦開帳
- 10月15日 1) 京極光明寺 蓮生法師持佛弥陀開帳
2) 松尾社舍利講 舍利開帳 (10月11日～此日マデ)
- 11月16日 1) 東大寺上ノ坊良弁僧正忌 良弁雕像開帳
- 12月20日 1) 嵯峨清涼寺釈迦煤拂 釈迦開帳

- 臨時
 2) 東山知恩院煤拂 法然上人像ノ厨子開扉
 1) 興福寺寺務職交勤節維摩法会 梅尾春日神像開帳

『都名所車』所載「都年中行事」における開帳記録

- 正月 15 日 さが釈迦開帳
 23 日 東山善正寺釈迦開帳
 4 月 8 日 戒壇堂開帳
 7 月 15 日～17 日 泉涌寺内弥陀開帳
 10 月 15 日 さが鹿苑院靈宝開帳
 15 日 松尾舍利開帳

本居宣長日記_内開帳記録

開帳内訳 (※印は『妙法院日次記』に見ゆ)	典拠記事
延享 5 年 1) 清水寺本尊開帳 (寛延元年) (於自坊、4 月 12 日～5 月朔)	宝曆 2 年迄之記／ 延享 5.4.12
17482) 山崎宝寺観音開帳 (於自坊、4 月 24 日)	宝曆 2 年迄之記／ 延享 5.4.24
3) 湯殿山大日如来開帳 (、4 月 24 日)	宝曆 2 年迄之記／ 延享 5.4.24
4) 三室戸寺本尊開帳 (、4 月 25 日)	宝曆 2 年迄之記／ 延享 5.4.25
5) 真如堂本尊開帳 (、4 月 26 日)	宝曆 2 年迄之記／ 延享 5.4.26
寛延 3 年 1) 勢州朝熊岳開帳 1750 (於自坊、3 月 5 日～5 月 18 日)	今井田日記／寛延 3.3.5
宝曆 2 年 1) 勢州国府阿弥陀開帳 1752 (、正月 22 日)	宝曆 2 年迄之記／ 宝曆 2. 正 .22
宝曆 4 年 1) 当麻寺中将法如像 _并 什物開帳 1754 (於安井御境内、3 月 6 日～50 日間)	在京日記／宝曆 4.3.6
2) 嵯峨二尊院本尊 _并 足洩御影・ 什物開帳 (於自坊、3 月 15 日～4 月 25 日)	在京日記／宝曆 4.3.12 4.15
3) 太秦広隆寺太子像開帳 (於自坊、 4 月 15 日)	在京日記／宝曆 4.4.15
4) 嵯峨清凉寺本尊開帳	在京日記／宝曆 4.10.2

- (於千本通一条南、7月～10月2日)
- 宝曆5年 1755
- 1) 竹田安楽寿院開帳 在京日記／宝曆 5.3.3
(於自坊、3月15日～4月3日) 4.3
 - 2) 南都招提寺本尊不空羅索觀音
#佛舍利・釈尊袈裟等開帳 在京日記／宝曆 5.3.3
(於壬生寺、3月3日～4月23日～8月10日) 4.23
8.朔
- 宝曆6年 1756
- 1) 等持院尊氏守本尊地藏并宝物等開帳及衣笠山登山 在京日記／宝曆 6.3.4
(於自坊、3月3日～4月13日) 4.6
 - 2) 檀王法林寺万日主夜神開帳 在京日記／宝曆 6.4.8
(於自坊、4月8日～4月17日～4月19日) 4.16
 - 3) 山科妙見菩薩夜国美人像開帳 在京日記／宝曆 6.4.8
(於自坊、4月8日～4月16日) 4.16
 - 4) ※江戸芝泉岳寺四十七士武具
#繪像等開帳 在京日記／宝曆 6.5.12
(於東山清閑寺、5月12日～6月9日) 5.23
6.9
 - 5) 下野高田山本尊開帳 在京日記／宝曆 6.5.12
(於河原町二条御坊、5月12日)
 - 6) <不明寺院>開帳 在京日記／宝曆 6.9.16
(於真如堂辺、9月16日)
 - 7) 東寺大黒天像開帳 在京日記／宝曆 6.11.12
(於自坊、11月12日～11月18日) 11.13
- 宝曆7年 1757
- 1) <不明寺院>開帳 在京日記／宝曆 7.3
(頁闕損ニヨリ不明、3月)
 - 2) 真如堂聖徳太子像開帳 在京日記／宝曆 7.3.15
(於自坊、3月15日～) 3.16
 - 3) 慈照寺銀閣開帳 在京日記／宝曆 7.3.15
(於自坊、～3月15日～) 3.16
 - 4) 永観堂本尊見かへり佛#靈宝開帳 在京日記／宝曆 7.3.15
(於自坊、～3月15日～) 3.16
 - 5) 法輪寺本尊開帳 在京日記／宝曆 7.3.19
(於自坊、～3月19日～)
 - 6) ※東福寺本尊并什物開帳 在京日記／宝曆 7.3.20
(於自坊、～3月20日～、堂塔修覆勸化)
 - 7) 嵯峨清凉寺釈尊開帳 在京日記／宝曆 7.8.6
(於京極四条南浄教寺、8月6日～10月15日) 10.3

- 8) 初瀬長谷寺本尊観音
 #天照太神・春日明神等開帳 在京日記／宝暦 7.10.3
 (於自坊、10月3日～17日間、金7両2歩)
- 宝暦 9年 1) 宇治興聖寺子安地藏開帳 目録／宝暦 9.4.8
 1759 (於伊賀町辺、4月8日～)
- 2) 勢州飯南郡朝田寺地藏尊開帳 目録／宝暦 9. 閏 7
 (於自坊、閏 7月朔日～閏 7月晦日)
- 3) 勢州飯南郡菅相寺観音開帳 目録／宝暦 9. 閏 7
 (於自坊、閏 7月朔日～)
- 4) 勢州飯南郡清水村森薬師開帳 目録／宝暦 9. 閏 7
 (於自坊、閏 7月朔日～)
- 5) 勢州飯南郡西町佛光山永昌寺大日開帳
 目録／宝暦 9. 閏 7
 (於岸江村野、閏 7月～)
- 宝暦 10年 1) 勢州飯南郡一身田末常教寺千手観音開帳
 1760 目録／宝暦 10.3.10
 (於自坊、2月24日～3月10日～3月15日)
- 2) 佐那金剛座寺開帳 目録／宝暦 10.3.10
 (於自坊、春)
- 3) 関地藏開帳 目録／宝暦 10.8.11
 (8月15日～8月29日)
- 宝暦 12年 1) 国束寺開帳 日記／宝暦 12.3.29
 1762 (3月)
- 2) 野登鷄足山観音開帳 日記／宝暦 12.3.29
 (3月)
- 3) 秩父巡礼地不残開帳 日記／宝暦 12.6.4
- 4) 信州善光寺開帳 日記／宝暦 12.6.4
- 宝暦 14年 1) 石山観音開帳 日記／宝暦 14.3.30
 (明和元年) 5.12
 1764
- 明和 2年 記事ナシ
 1765
- 明和 3年 記事ナシ
 1766
- 明和 4年 1) 勢州多気郡丹生弘法大師開帳 日記／明和 4.4.26
 1767 (於勢州愛宕山、3月下旬～4月26日)
- 安永 3年 1) 伊賀国阿坂浄源寺開帳 日記／安永 3.3.2
 1774

安永 6 年 1777	1) 野州高田如来開帳 (於一身田、4 月下旬～6 月 5 日)	日記／安永 6.5.7 5.26
安永 7 年 1778	2) 勢州朝田地蔵開帳 (於自坊、閏 7 月朔日～7 月 20 日)	日記／安永 7. 閏 7. 朔 閏 7. 晦
安永 8 年 1799	記事ナシ	
安永 9 年 1780	1) 信州善光寺如来開帳 (於勢州浄津西来寺、9 月 17 日～9 月 23 日、) (コレニ先立ち和歌山ニテ開帳)	日記／安永 9.9.17
天明 4 年 1784	1) 諸国真言宗弘法像開帳 (弘法大師 950 年忌)	日記／天明 4.3.20
天明 7 年 1787	1) 勢州白子観音開帳 (於勢州愛宕、3 月 11 日～4 月 24 日)	日記／天明 7.4.24
寛政 2 年 1790	1) 紀州粉川寺観音開帳 (於勢州船江薬師寺、3 月 2 日～4 月 14 日)	日記／寛政 2.3.2 4.14
	2) 竹生島観音 [#] 弁財天開帳 (於勢州壹志郡天花寺、8 月 15 日～)	日記／寛政 2.8.15
寛政 3 年 1791	1) 京革堂観音開帳 (於勢州船江薬師、5 月 18 日～30 日間)	日記／寛政 3.5.18
寛政 5 年 1793	1) 永観堂開帳	寛政 5 年上京日記 ／寛政 5.4.2 4.10
寛政 6 年 1794	1) 熊野那智山観音開帳 (於勢州船江薬師寺、8 月 5 日～30 日間)	日記／寛政 6.8.5
寛政 7 年 1795	記事ナシ	

『花乃都諸開帳両本山大御法会[#]御旧跡案内』所載嘉永元年春開帳

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| 1) 石山寺 (蓮如上人鹿子の御影) | 2) 大佛殿 (釈尊半身御影) |
| 3) 清水寺 | 4) 高台寺 |
| 5) 東漸時 | 6) 双林寺 |
| 7) 愛宕寺 | 8) 安井 |
| 9) 長楽寺 | 10) 東大谷 |
| 11) 花頂山知恩院 | 12) 祇園 |
| 13) 西野御坊 | 14) 竹鼻御坊 |
| 15) 佛光寺御坊 | 16) 大津関寺 (蓮如上人爪形の御名号) |
| 17) 植髮堂 (始祖聖人の御真影、御姿見の鏡) | |

- | | |
|-----------------------------------|-------------------------|
| 18) 永観堂 | 19) 本光寺 |
| 20) 黒谷 | 21) 真如堂 |
| 22) 下加茂 | 23) 御内裏 |
| 24) 佛光寺 (秘佛の弥陀) | 25) 誓願時 |
| 26) 六角堂 (救世大士) | 27) 因幡堂 (薬師如来、有舞楽、勅会開帳) |
| 28) 天使社 (五条天神) (丹波兵主大明神一疱瘡神一出開帳) | |
| 29) 大泉寺 (姿見の池・数珠掛の梅・連理竹の杖・見送りの弥陀) | |
| 30) 空也堂 | 31) 神泉苑 (善女竜王) |
| 32) 清和院 (観音) | 32) 壬生寺 (地藏尊) |



図版 開帳案内『花乃都諸開帳而本山大御会並御旧跡案内』